

講義タイトル	尿でわかる異常のサイン	学科名	臨床検査学科
		講師名	岡村美和/講師
		専門	生物化学分析検査学
		対象	中学生以上

概 要
健康な人であれば、食事をして排泄するという行為は、ほとんど意識することなく習慣的に行っています。排泄は不要なものを体から捨てるということ以外に、体でどんなことが起きているか知らせてくれる材料でもあります。普段、排泄物は汚いものとして扱われていますが、人間の体の機能を正常に保つためにとても重要なものです。中でも尿は、それ自体ほぼ無菌であり、汚いものではありません。毎朝無意識に排泄している尿は、体の状態をあらわしていて、臭い、色、化学成分の検査や、顕微鏡での形態観察により、体の異常を発見することができます。 また、尿は腎臓で作られ、尿管、膀胱、尿道を通して排泄されますが、その通り道で起こる「異常のサイン」が尿の中につまっているのです。 いくつかの検査項目からどんな異常を知ることができるか学びながら、私たちが健康に生活していくために、どれだけ体が頑張っているかイメージしてみましょう